

## News ① 若者のU・Iターンを促進

### 丹波市×武庫川女子大学・短期大学部 就職支援に関する連携協定を締結 しました

丹波市と武庫川女子大学・短期大学部との間で、11月19日（水）に、就職支援に関する連携協定を締結しました。学生のU・Iターン就職促進、市内企業へのインターンシップ受入支援、市内の企業情報や就職イベントの周知などに取り組みます。

今回の協定締結は、同大学の創設者である公江喜市郎氏が青垣地域出身というご縁もあり実現しました。調印式には、辻市長、糸魚川学長をはじめ、丹波市出身の学生6人も参加。学生を代表して柏原地域出身の小島愛奈さんが「将来、丹波市で就職して地元貢献したい」と期待を込めてあいさつをしました。



前列左から糸魚川学長、辻市長。後列は丹波市出身の在学生のみなさん

☎ 新産業創造課（春日庁舎内） ☎ 74 - 1464

## News ② 寄り添い続ける母子保健を実践

### 研鑽に荣誉！丹波市職員が「母子保健奨励賞」を受賞



母子保健奨励賞を受賞した大槻保健師。この荣誉を称え、市からも善行表彰が贈られました

地域に密着した母子保健活動で著しい功績をあげた人に贈られる「第36回母子保健奨励賞」を健康課所属 健康指導係長 大槻秀美（保健師）が受賞し、11月19日（水）に東京都内で授与式が行われました。

同職員は、昭和59年に氷上町役場に入庁し、町内唯一の保健師として乳幼児健診や妊婦相談などに従事。市発足後は、「乳幼児期から思春期までの子どもたちと関わり続けること」を目標に掲げ、小・中学校と連携しながら、喫煙防止教育や望まない妊娠対策などに努めてきました。

今回の受賞を受けて大槻保健師は、「今後も積極的に思春期保健に取り組み、さらに小・中学校との連携を深めていきたい。母子保健活動に関わってきたすべての仲間たちと喜びをわかち合いたい」と話しました。

えっ！市役所からLINEスタンプが！？

笑ったり、怒ったり、しょぼーんしたり…

LINEスタンプショップで  
全部で40種類！  
1セット100円で  
販売開始！

QRコードからも  
買えるよ！

## ちーたんぴが LINEスタンプ になって登場！

LINEスタンプ販売開始！詳しくは丹波市HPへ！



氷上工場には約80mにおよぶ生産ラインがあり、運送を担う関連会社が隣接しています

インターネットの普及により通販で物を買う人が増え、商品の発送に使用される段ボール箱のニーズは高まっています。そのため、商品を発送する業者からは、商品の大きさに応じた「軽い丈夫な段ボール」が求められています。この状況を数年前に予想した同社は、他社に先駆けて軽量化した段ボールの製造を開始し、現在でも業界をリードしています。仕入の際の天候や湿度など品質の管理が難しい材料をうまく使用することで、一般的な段ボールの約半分の重さで製造することができま

何をしている会社？  
神崎紙器工業株式会社（本社：尼崎市）は、昭和51年、氷上町新郷に工場を新設しました。氷上工場では、私たちがよく目にする段ボール箱や段ボール箱の元になる段ボールシートを製造しています。丹波市に立地したのは、阪神間にも日本海側にもアクセスがよく、今後、交通網が発展していく地域であると考えたためで、

後に材料の仕入や運送などを担う関連会社もすべて丹波市で操業を開始しています。  
ここが「押し」！  
インターネットの普及により通販で物を買う人が増え、商品の発送に使用される段ボール箱のニーズは高まっています。そのため、商品を発送する業者からは、商品の大きさに応じた「軽い丈夫な段ボール」が求められています。この状況を数年前に予想した同社は、他社に先駆けて軽量化した段ボールの製造を開始し、現在でも業界をリードしています。仕入の際の天候や湿度など品質の管理が難しい材料をうまく使用することで、一般的な段ボールの約半分の重さで製造することができま



1日に約300kmの段ボールシートを製造する機械

を担う市内の関連会社と互いに連携することで、受注に応じた製品を効率よく、低コストで製造することができます。なおかつ、運送を担う関連会社が丹波市内にあること、24時間の生産体制により、短時間での納品も実現しています。軽量化に加え、関連会社のネットワークを生かしたお客様が満足いく製品を提供する同社は、今日、幅広いユーザーから信頼を得ています！

DISCOVER TAMBA Vol. 42

きらめき企業

## 神崎紙器工業株式会社 氷上工場

「段ボールシート、ケースのトータル生産プラント」

**【会社概要】**

- 所在地 丹波市氷上町新郷 179-1
- 電話番号 0795-82-4331
- 主な事業 段ボールの製造販売、梱包機械および梱包材料の販売
- 従業員数 140人

INTERVIEW

### トップからのメッセージ

営業部 部長 広瀬伸晃 氏

工場の新設後、丹波市に根を下ろす思いで自らこちらに移住した創業者は、「丹波市に恩返しする」と口癖のように話しています。会社としても地域と関わりをもつことを大切にしており、セルフ形態が増えるなか、自社のガソリンスタンドでは、地域と関わりをもとうと従業員がスタッフとなり、値段を抑えて給油しています。また、地元の人を雇用することも恩返しと考え、毎年、市内の高校を中心に採用を継続しています。入社後は、工場への勤務だけでなく事務所での勤務もあるので、男性だけでなく女性も働くことができる職場です。この会社は、不景気の時でも一人の従業員も減らすことがなかった、人を大切にする会社であることが誇りです。

きらめき★インタビュー  
若手社員  
の声

丁寧に教えてくれる先輩に感謝！

足立剛健さん（20）  
わからないことは、周りの先輩へ気軽に聞ける職場なので、高校の時に営業の勉強しかしてない入社2年目の私も、現在は生産ラインの一部を担当させてもらっています。生産ラインを止めることのないよう、身を引く締めて頑張ります！  
社会人になってうれしかったことは、自分が買った給与で自分の好きなものを買えるようになったことです。そして、お金の有難さがよくわかりました。